

ゆうかり放送委員会提供

# ゆうかりに乾杯

第65回放送の概要 (2013年6月22日放送)

## パーソナリティ

さくら (安本久美子)  
タロウ (佃 由晃)  
なかちゃん (中嶋邦弘)

## コアラさんの地域瓦版

アコちゃん (三木文子)



## ミキサー

門ちゃん (門田成延)  
一ノ瀬悟

## 相談役

わだかん (和田幹司)

## 会計

小山俊則

(CM) 武井咲です。献血ありがとうございますの声が届いています。わかきみーなちゃん 8才より。献血ありがとうございます、命をわけてくれて。ありがとうございます。生きるという贈り物。日本赤十字社。Lobe in action。

(CM) エキストラ珈琲は、神戸で初めてのコーヒー豆焙煎問屋として、大正12年に誕生。今年で創業90周年迎えました。これもひとえに皆様のお陰と、心より感謝申し上げます。この先も、高級コーヒーを厳選し、評価に値する味を提供し続けたいと考えます。どうぞよろしくお願い致します。本日はエキストラ珈琲様 (電話 078-671-0135) のご協力を頂きました。

(CM) 手作り和菓子、古賀屋のおはぎは、佐賀古賀家のがばいばあちゃんが作ったお米を、佐賀っぼの親父と息子が、選りすぐりの小豆、砂糖、塩を使い、佐賀名物の小城羊羹に負けないだけの味に仕上げました。是非この味をご賞味頂きますようお願い申し上げます。本日は、手作り和菓子古賀屋様 (電話 078-201-5185) の御協力を頂きました。

## 1. オープニング

先週土曜日は、兵庫高校で武陽人100年の集いが開催された。ゆうかり放送委員会もブースを出し、来場者に対するインタビューや指ヨガ教室などを行った。来週 (第5週) の放送では集いの状況をとりあげたい。

## 2. ゲストコーナー (1): 長谷川登世子さん (74 陽会)

部活はソフトテニス部を3年間やっていた。練習で中途半端なスコート焼けをし、休日はオールディといって朝から夕方まで練習、平日は夜間高校があるため練習時間に制限があるので、昼練のためそれまでに弁当を食べておき (早弁) 練習に励んだ。入部当時の練習は厳しく何人かは途中でやめていった。部員は女子が男子の1.5倍くらい?であったが、コートは男子が強く優遇されていた。成績はいま一つで、区でベストエイトに入れたかというところであった。合宿は神鍋高原で楽しかった思い出がある。兵庫高校では制服は標準服のみだし進学校のような硬さはなく、自由だったという思い出がある。医

療技術の臨床検査技師を目指していたので、生物化学の理系を選択していた。好きな科目は生物、化学、数学で、英語は中学では好きであったが高校に入るとそうではなくなった。あこちゃんの在学中は1学期で教科書を終わりすぐに副読本に入っていた。記憶に残る先生は担任の上中先生（生物）と奥村先生（数学）である。数学が好きであったこともあり、姫路短大の経営情報学科に進んだ。他の生徒は見ている限りのんびりとしていたが、北区から来ている生徒は勉強の仕方が自分と圧倒的に違い、気がつくともみな塾に通っていたりして驚いた。

中学時代にプログラマーという言葉聞き興味を持ち、また物を作り組み立てる感覚が好きで、姫路短大の経営情報学科を選んだ。COBOL, FORTRAN を勉強した。C言語は卒業後である。卒業後はNECの子会社に就職し、オフィスコンピューターの基本ソフトウェアを作っていた。5年9月プログラマーとして仕事をした。この時のおかげでマニュアルを読むのはあまり苦にならないので、先日もパソコンがトラブったが、メッセージに従って対処するとトラブルは解消した。

### 3. ミュージック：光のように波のように (Norihito Tsuru)

ツルノリヒロさんはドキュメンタリーのサウンドトラックを作っている人で、この曲は心が波立つ時に聴きたい曲です。

### 4. ゲストコーナ（2）長谷川登世子さん（74 陽会）

1994年12月にプログラマーの仕事を辞め、フラワーデザインの仕事を始めたいと思っていた時に、阪神大震災が発生し、家が半壊した。少し落ち着いてから、苺藻温水プールが風呂として開放していたので、案内係のボランティアをしていた。大阪までの交通機関が復旧後、フラワーアレンジメントの大阪心斎橋の会社の面接を受けた。その会社は布花を使ったアレンジメントをホテル、レストランに生け込む仕事をメインにしていた。

プログラマーの仕事をしてきて、2年ほど経った時、中身を作ることは楽しかったが、外側がどんどん変わっていくことについて違和感があり、自分が一生やる仕事ではないと思うようになった。その時に友人からフラワーデザインを紹介され、少し習うと夢中になれるものがあり、会社の仕事をしながら師範の単位を取得した。フラワーデザインにはこれまでの枠にはまった自分の人生が出ると思い、自分らしさとは何かを考え始め、枠を広げたいと思い、就職1年後、留学することにした。留学先はハワイ（集中講座）とフランスを選び、自分はフランスのスタイルが気に入っていると思い、最初パリに入り、次にニースに行った。ニースのスタイルが気に入っていたのでニースに居続けようと思った。フランス語はプログラマーを辞めて、花の仕事をしている時にアフターファイブの時間が出来たので、カルチャースクールで勉強を始めた。留学半年前は個人で習った。フランスでは午前中語学学校に通った。

独立してEsprit Souple(エスプリ スープル)を立ち上げた。エスプリは精神、スープルはしなやかなと言う意味で、しなやかな発想、しなやかな精神という意味です。自分には枠にはまった所があったので、その枠をとりたい、自由に発想できるようになりたい、たおやかに生きていきたいと思いつけた名前です。仕事としてはアトリエの形でウエディングのブーケや贈り花のアレンジメントなどの注文を受け配送している。以前は各所で花遊びの会を開催していたが、今は花咲くサロンという名前をつけて、自宅の花だけでなく料理や、講師を依頼しキャンドルアート他楽しめる機会を企画している。お母さん方(独身女性も)が集えて、自分が楽しむだけでなく、自分も発信し花を咲かせる機会が出来ればと思ひ、



コミュニティの場を作っている。サロンに来られる方は基本は口コミで、最近では facebook も使用しているが、ある程度クローズした状態で使っている。生け花とフラワーアレンジメントの違いや同じところについては、生け花は引き算で、フラワーアレンジメントは足し算のようなどころがあると思っている。(生け花は、植物の余計な線を切り落として美しく見せ、植物それぞれの線や形を大切に、花を活かすもの。フラワーアレンジメントは、植物の色・形・素材のハーモニーを大切にしながら彫刻的にデザインしていくもの。)

今後のサロン、フラワーアレンジメントの方向としては、今の輪を更に広げたい事、自分自身について考えると、(会社という所属を離れ、自分で動くことを) 始めたことで素敵な人との出会いが増え、自分自身を引き出してもらったと言う思いがあるので、そのような事が自分だけにとどまらず、サロンにおいてもお互いに引き出し合える(花咲く)ような場にしたいと考えている。

今回は出店出来ないが、ハンドメイドチャリティマーケットは、2010年から里親支援をするためにママたちが自分達の手作りのものを販売しているもので、年に2回開催し、次回は6月28日(金)、29日(土)、30日(日)、7月5日(金)、6日(土)、7日(日)、各日11:00~17:00に、場所は handmade CLEAR 元町商店街「神戸」側入り口より徒歩約1分の所で開催される。この場所で AWEP の有吉さん他、多くの方に出会った。

ご主人は、フランス留学中にホームステイ先の隣室であったことから知り合い、アジア系仏人で日本的なところも持っている。あこちゃんは、数年前にご主人からフランス語を習ったことに気づき、当時は内に秘めたものを持った硬い、真面目で物静かな人で、フランス人というよりアジア人の印象であった。家庭内ではお互いに母国語で話し、娘さんは関西弁で、お父さんに「ちゃうちゃう」と返事したりしている。最近TVで、フランス人と日本人の感覚の違いについて放映されていたが、ご主人が来日し感じたことは、道に自転車が停めてある事、エアコンの室外機が普通に置いてある事(フランスは建物が古く乾燥しているのでエアコンは少ない)に驚き、コンビニ、自販機の便利さ、スリ等がわりと多いフランスと違い 安心して暮らしやすい事である。

実家は兵庫区吉田町の瓦煎餅屋さん(亀栄堂)で、今後融合をテーマに新しい事を取り入れることを模索している。瓦煎餅は神戸ではお土産にし、家で食べることは少ないがおいしいので、普段食べやすいものということで、昔からの障子煎餅を細く長くしたものなどを作り、お店とナナ・ファーム須磨のコーヒコーナーでも販売している。長障子という名前を付けているが、いい名前があれば提案してほしい。



右手が長障子、左手が瓦煎餅

## 5. なかちゃんコーナー：歴史豊かな神戸の高等学校を紹介

- (1) 2008年に創立100周年を迎え、今年3月に100回目の卒業生を送り出した我等が母校の兵庫高校は、先日15日、これを記念して「武陽人100年の集い」を開催しました。現在では創立105年となります。
- (2) 神戸市内には、公立26私立25、合せて51校あります。創立100年を越える高校を挙げてみますと、一番歴史があるのが、①県立星陵（元第一商業）135年。②親和学園126年、③松蔭学園が今年120年を迎えます、④県立神戸117年、⑤育英114年、⑥県立兵庫工業111年、⑦市立神港106年、⑧県立兵庫105年、⑨神戸常盤女子105年、⑩神戸学院大附属（元森学園）101年、⑪神戸第一（元塩原学園）もめでたく今年100年、と続きます。
- (3) これから創立100周年を迎えるのは、滝川95年、甲南女子93年、県立長田92年、村野工業92年、龍谷（元、成徳）92年、須磨学園91年。
- (4) 今年、90周年を迎えるのは、須磨の浦女子90年、啓明学院90年。来年、再来年あたりから、山手女子89年、県立夢野台88年、私立神港88年、野田87年、灘86年、市立兵庫商業85年、神戸星城（元、神戸実践女子）84年、と歴史ある高校が続きます。
- (5) 同じく80周年に近づいているのが、六甲76年、市立葺合74年、県立御影72年。以上が戦前からあった高校です。また、最近60周年を迎えたのが、神戸海星女子62年。
- (6) 戦後、いわゆる団塊の世代を含むベビーラッシュの子どもたちが高校に進学する頃、1959年（昭和34年）から1970年代に多くの高校が新たにスタートしました。去年に50周年を迎えた県立神戸商業51年、愛徳学園51年。今年50周年が、神戸国際大学附属（元、八代学院）50年。去年40周年だったのは、県立北須磨41年。今年40周年を迎えるのは、県立舞子40年、県立神戸北40年。来年40周年は、県立神戸甲北39年、神戸東灘39年。再来年には、県立伊川谷38年です。
- (6) ほかに、神戸須磨東が35年。今年30周年をむかえたのが、県立須磨友が丘30年、弘陵30年。来年には、県立神戸高塚29年、滝川第二29年を迎え、次いで県立伊川谷北27年です。ここまです、昭和年代の創立です。
- (7) 平成年代に入って、公立高校の5校と私立の1校、各種特色のある新設が相次ぎました。神戸国際22年、市立六甲アイランド15年、県立国際10年、市立科学技術9年、県立神戸鈴蘭台6年、市立須磨翔風4年です。

こうして見ると、神戸は東京や大阪に負けず、高等教育に力を入れてきたのが分かります。これからも、優秀な人材、特色ある分野で力を発揮する人材など、期待できますね。

## 6. あこちゃんの地域瓦版

神戸市の花、紫陽花の季節になってきました。須磨離宮公園で15種類、8000株が見頃を迎えています。バラを見たい方は六甲山カンツリーハウスのローズガーデンにお越しください。

## 7. 来週の予定

6月15日に兵庫高校で開催された「武陽人100年の集い」の様子を、関係者に集まって頂きお話を頂きます。

番組に対するご意見、ご感想はこちらまで：[yuukarinikanpai@gmail.com](mailto:yuukarinikanpai@gmail.com)